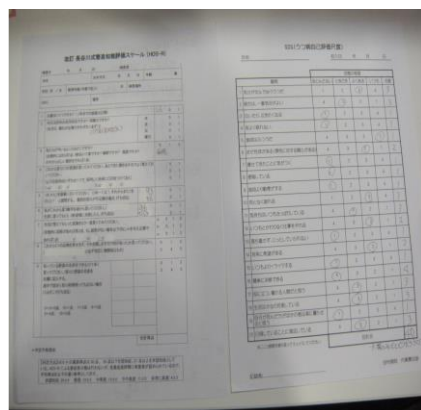


☆2017年6月24（土）家族教室が開催されました☆

今回はご家族さん9名に参加していただきました。ありがとうございました。

前半は笑み筋体操を行いました。森OTが担当し、普段現場で使用している評価尺度の紹介と体験がありました。今回は、うつ病自己評価尺度(SDS)、長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)の紹介でした。SDSは自身で状態をチェックしていき、HDS-Rは森OTの質問を聞いてチェックしていきました。森OTからは心理テストや評価尺度を用いて、精神疾患の目に見えにくい所を数値化し、ご本人さんの理解につなげて治療に活かしていると説明がありました。ご家族さんも興味を持たれている方が多く、大変貴重な体験になったのではないかと思います。



後半は浦田看護師長から「精神科病院の役割について」の講義がありました。統合失調症には陽性症状(幻聴や幻覚等)、陰性症状(無為自閉等)があります。それらの症状が悪化し、日常生活が困難となった場合に精神科病院で入院治療を受ける必要性があります。入院後は薬の調整、リハビリテーション等を受け、ご本人さんの病状が回復すれば地域に退院すると説明がありました。

ご家族の感想

- ・認知についてのお話良かったです。
- ・私の実情にあった説明していただき、接する家族の不安も少し解消されました。
- ・親もいつも勉強になります。
- ・笑み筋体操が興味あった。
- ・師長さんのお話が良かった。

また、ご本人さんへのかかわりについても話がありました。ご本人さんはご家族さんに一番わかってほしいと思っています。その為には疾患の特性を知り、なぜ今このような言動や行動をしたのかを考えることが必要です。今後もご本人さんの理解を深める為にも家族教室で疾患の特性について講義を致しますので、初めて参加される方もご参加お待ちしております。

次回の家族教室は7月22日（土）14：00～16：00です。

編集後記

夏といえば、僕の中では高校野球です。高校生が一生懸命プレーしている姿を見るのが好きです。3年生にとっては集大成の大会になるので、悔いのないように頑張してほしいですね。

(編集:旭惇志)

